

令和7年度 金沢市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和8年5月
金沢市（石川県）

○計画期間:令和4年4月～令和9年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月31日時点)の中心市街地の概況

金沢市では、旧法計画及び認定計画（第1期、第2期、第3期）に基づく、中心市街地活性化の取組により、都市機能の低下を食い止め、伝統と賑わいが調和した金沢ならではのまちづくりを進めており、令和3年度には、住む人と訪れる人が「しあわせ」を共創する持続可能なまちを実現することを目指し、「住む人にも訪れる人にも快適で楽しいまちづくり」「人も地球も元気になるまちづくり」「文化やまちの個性を磨き高めるまちづくり」を基本的な方針とする第4期認定計画を策定した。

計画の4年目となる令和7年度は、能登半島地震からの復旧・復興が進展し、地域の事業者への支援策が強化されたことで、中心市街地の賑わいが一層回復している。特に、観光客数は回復基調を維持し、インバウンドは急増したことから、市文化施設の入館者数は前年を上回る実績となった。ただし、一部の指標は依然として目標値に達していないため、引き続き注視が必要である。

また、住環境の改善施策などが効果を発揮し、まちなか居住者数は着実に増加している。特に45歳未満の若年層の社会動態は明確に回復傾向にあり、これが地域の活性化に寄与している。

今後は、都市再生緊急整備地域に指定されたことを受け、民間投資の促進や公共インフラの整備を推進するとともに、賑わい創出を目的としたイベントの拡充や新たな交流施策の展開により、中心市街地の持続的な発展を目指していく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（基準日：毎年度1月1日）

（中心市街地 区域）	令和3年度 （計画前年度）	令和4年度 （1年目）	令和5年度 （2年目）	令和6年度 （3年目）	令和7年度 （4年目）	令和8年度 （5年目）
人口	53,021人	52,254人	51,621人	50,989人	50,381人	
人口増減数	▲479人	▲767人	▲633人	▲632人	▲608人	
自然増減数	▲701人	▲677人	▲709人	▲703人	▲715人	
社会増減数	222人	▲90人	76人	71人	107人	
転入者数	2,000人	1,936人	1,954人	2,032人	1,983人	

2. 令和7年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

金沢市と協議会との間において、現在に至るまで基本計画の進捗状況についての意見交換を実施しており、事務局である金沢商工会議所や(株)金沢商業活性化センターなどと連携をとりながら基本計画に基づいた取り組みが進められている。

令和7年度は現行の第4期基本計画の4年目にあたるが、4つの数値目標のうち2つの項目で基準値を下回る結果となった。しかし、中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態については令和7年度に転入超過となるなど徐々に改善が見られ、文化施設の来館者数も増加傾向を維持していることから、誘客施策が一定の効果をあげており、評価に値すると考えられる。

今後も市街地再開発事業やまちなか定住促進事業、文化施設活性化事業などの主要事業の着実な遂行が求められる。また、都市再生緊急整備地域の指定を契機に、民間による開発の機運を高め、都心軸エリア全体の面的整備の促進につなげることで、中心市街地のさらなる活性化が期待される。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
まちなかの定住者数を増やす	中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態	▲15人/年 (H29～R2 平均)	60人/年 (R8)	13人 (R7)	B	A	A
ウォーカブルなまちなかを形成する	主要商業地の休日の歩行者・自転車交通量	30,836人 (R2)	43,289人 (R8)	25,281人 (R7)	C	A	A
公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える	まちなかにおける自動車分担率	45% (H30)	42% (R8)	48% (R7)	C	A	A
歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	中心市街の市文化施設(14施設)と金沢未来のまち創造館の利用者数	171,206人 (R2)	357,000人 (R8)	303,114人 (R7)	B	A	A

< 基準値からの改善状況 (※1) >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A：目標達成が見込まれる

B：目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C：目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況 (※1) >」、< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例：a、b、c)

2. 目標達成見通しの理由

「中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態」

目標値には及ばないものの、基準値を上回るなど数値は回復傾向にある。都市再生緊急整備地域の指定を受け、民有の大規模用地や跡地における民間都市開発の促進や機運醸成が進むことで、まちなかの人口増加が見込まれており、今後も事業を継続し、目標達成を目指す。

「主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量」

令和6年1月に発生した能登半島地震の影響を受けて来街者は大きく減少したが、地震により損壊した建造物の復旧支援への取組や地元商店街と連携した新たな取組により客足を取り戻していくとともに、跡地の先行利活用を促進していくことで、目標達成を目指す。

「まちなかにおける自動車分担率」

新型コロナウイルス感染拡大前の水準である基準値は下回ったものの、「自転車利用促進事業」における「まちなり」の利用者数の増加や、「パーク・アンド・ライド駐車場」の利用者も増加してきている。令和7年度から第3期「まちなり」の運営開始により、利用者のさらなる増加に向けた取組を強化しており、目標の達成は可能と見込まれる。

「中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数」

目標値である新型コロナウイルス感染拡大前の水準には及ばないものの、基準値を上回るなど順調に回復している。また、金沢未来のまち創造館の利用者数はすでに目標値を上回っており、引き続き事業を継続することにより目標の達成は可能と見込まれる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

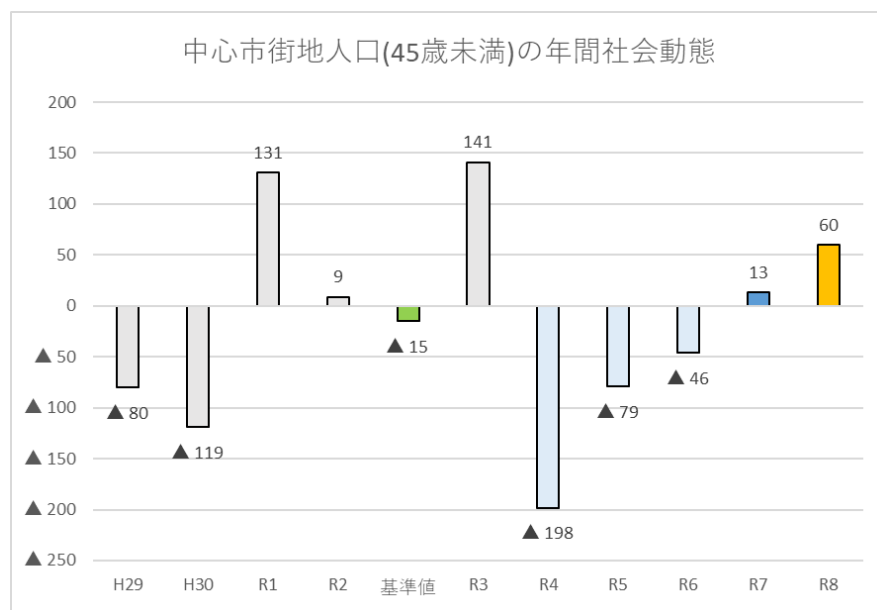
なし

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

（1）「中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 52～P. 54 参照

●調査結果と分析



年	単位：人
R29 ～R2 平均	▲15 (基準年値)
R3	+141
R4	▲198
R5	▲79
R6	▲46
R7	+13
R8	+60 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳より集計

※調査月：令和8年1月

※調査主体：金沢市

※調査対象：中心市街地活性化基本計画区域内の45歳未満の住民

〈分析内容〉

令和7年度は転入超過となり、徐々に改善してきているが目標値まで達していない。今後も引き続き能登半島地震の影響等による国内外からの転入出の動きを注視していく必要がある。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 旧材木町小学校跡地利活用事業(金沢市)

事業実施期間	令和6年度～【実施中】
事業概要	金沢市の中心部で旧城下町の町並みが色濃く残る本地域に位置する旧小学校跡地について、地域防災機能の強化と地域活動の活性化に向けた整備を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集集中支援事業費補助(国土交通省)(令和6年度～令和7年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	埋蔵文化財試掘調査の結果、文化財が発掘されたため、令和7年度は埋蔵文化財発掘調査を行った。
事業の今後について	能登半島地震を教訓とした、木造密集地における災害対応力の強化を図るための整備を進める。

②. 夢ある公園再生・活用事業(金沢市)

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	玉川公園について、インクルーシブ機能を備える公園に再整備する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	玉川公園を整備したことで、子育て世代をはじめとして、誰にとっても住みやすいまちなかの形成につながった。
事業の今後について	誰もが使用しやすい公園・広場の整備を進めていく。

③. 玉川こども図書館ソフト事業(金沢市)

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	読書イベントや体験学習、ワークショップ、子どもの伝統芸能体験会の開催、幼児・児童・生徒の図書館への招待事業など、親子連れを呼び込む事業を多数実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	親子向け事業の実施により、住みやすいまちなか形成に向けた交流機会の創出につながっている。
事業の今後について	事業の継続により、にぎわいと定住につながるまちづくりを進めていく。

④. 旧新竪町小学校跡地整備検討事業(金沢市)

事業実施期間	令和7年度～【実施中】
事業概要	旧新竪町小学校の跡地において、大学サテライト機能を備えた交流

	拠点施設の整備に向けた検討を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和7年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	学識経験者や大学関係者をはじめ、地元関係者等で構成する懇話会にて施設整備に向けた検討を行い、旧新堅町小学校跡地整備基本構想を策定した。
事業の今後について	多様な人々と地域がつながり、学びと共創を創出する地域力創造拠点を整備していく。

⑤. 金沢こども広場事業(金沢市)

事業実施期間	平成9年度～【実施中】
事業概要	乳幼児の親子が気軽に集い、一緒に遊びながらふれあい、交流する場を提供するとともに、子育て相談や情報の提供、子育て支援事業を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	子ども・子育て支援交付金(地域子育て支援拠点事業)(内閣府)(令和4年度～)
事業目標値・最新値及び進捗状況	金沢駅あんと内にて「金沢駅こどもらんど」を運営し、市内在住者の子育て支援の拠点となるだけでなく市外・県外からの来訪者にも利用されている。 令和7年度延べ利用者数：15,487人
事業の今後について	市内各地に点在するこども広場の1つとして、子育て支援の拠点として利用し続けられるよう、事業を継続していく。

⑥. 近江町交流プラザ運営事業(金沢市)

事業実施期間	平成21年度～【実施中】
事業概要	生涯学習活動の場や親子の集いの場、食育推進の場等を提供するための施設を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	子ども・子育て支援交付金(一時預かり事業)(内閣府)(令和4年度～)
事業目標値・最新値及び進捗状況	生涯学習や子育て支援、食育機能を有する施設を中心市街地で運営することで、子ども連れの家族が積極的にまちなかに訪れる機会の創出につながっている。 ○利用者数 令和4年度 令和7年度 まなびい広場(学習の場) 20,518人 31,184人 食育広場(キッチンスタジオ) 765人 739人 ちびっこ広場(子育て支援) 19,268人 17,672人
事業の今後について	子育て世代をはじめとして、誰にとっても住みやすいまちなかの形成につなげるため、事業を継続していく。

⑦. まちなか空き家等活用促進事業(金沢市)

事業実施期間	平成 22 年度～
事業概要	まちなか区域において、かなざわ空き家活用バンクに掲載した空き家又は空き住戸を購入し、自ら定住する者に対して内部改修工事費を助成する。まちなか区域において、空き地・空き家・空き住戸の情報を提供するかなざわ空き家活用バンクを運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 7 年度：利用者数 0 人
事業の今後について	令和 8 年 6 月末で内部改修工事費の助成事業廃止。かなざわ空き家活用バンクは運営を継続する。

⑧. まちなか定住促進事業（金沢市）

事業実施期間	平成 10 年度～【実施中】		
事業概要	まちなか区域において、戸建て住宅の取得や分譲マンションの購入に助成する。		
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし		
事業目標値・最新値及び進捗状況	○まちなかマンション購入奨励金制度における 認定マンション住戸数 R 1～R 7 : 183 戸 今後片町四番組海側地区において分譲マンションを含む複合施設が計画されている。		
	○各種奨励金制度活用状況（中心市街地のみ） 目標値：95 人（H28～R 2 平均）		
	制度	R 7 利用者数	うち 45 歳未満
	まちなかマツション購入	0 人	0 人
	住宅取得	30 人	30 人
計	30 人	<u>30 人</u>	
事業の今後について	金沢市全域の住宅の着工件数が減少しており、まちなか区域においても同様に減少する中で、区域内における奨励金の認定申請件数も減少した。また、金沢市まちなかマンション購入奨励金の補助対象となる認定マンションの新たな申請がなかったことから、奨励金制度の活用状況は減少したが、引き続き、各種奨励金制度の周知を進め、まちなかへの居住を促進する。		

⑨. まちなか低未利用地活用促進支援事業(金沢市)

事業実施期間	平成 20 年度～令和 7 年度【済】
事業概要	まちなか区域において、狭あい道路に面する 500 m ² 未満の低未利用

	地の住宅整備に対し助成する。狭あい道路に面する 500 ㎡未満の低未利用地の売り主に助成する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業開始以降、全 2 件の認定実績があり、近年は支援制度に関する相談を受けることはあるものの、認定案件として具体化には至っていない。
事業の今後について	

⑩. 商店街デジタル活用促進事業(金沢市)

事業実施期間	令和 7 年度～【実施中】
事業概要	株式会社金沢商業活性化センターと連携し、外部の専門家を招いた研修会を実施することで、商店街や店主の DX 化を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創成交付金(第 2 世代交付金)(内閣府)(令和 7 年度) 地域未来交付金(内閣府)(令和 8 年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	外部の専門家を講師に招き、商店街や店舗の DX 化に向けたデジタル研修を実施(令和 7 年度開催実績: 10 回)。
事業の今後について	商店街の競争力強化を図り、社会環境の変化に対応できるよう、引き続き商業者のデジタル育成施策を実施していく。

⑪. 商店街サポートサロン開設事業(金沢市)

事業実施期間	令和 7 年度～【実施中】
事業概要	複雑化・多機能化する商店街の課題を一元的に解決するため、株式会社金沢商業活性化センターと連携し、アクセスしやすい中心市街地に商店街サポートサロンを開設する。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創成交付金(第 2 世代交付金)(内閣府)(令和 7 年度) 地域未来交付金(内閣府)(令和 8 年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	・相談対応・アドバイス業務の実施: 124 件 ・空き店舗情報の一元管理、マッチングの実施 ・インバウンドや観光客への情報発信 ・商店街活動伴走支援事業: 3 件 ・デジタル活用商店街動態調査事業の実施
事業の今後について	商店街サポートサロン運営事業に移行し、引き続き商店街のサポートを続けていく。

⑫. 商店街活動伴走支援事業（金沢市）

事業実施期間	令和５年度～【実施中】
事業概要	商店街の課題解決や活性化に向け、商店街からの要望に応じた外部の専門家を派遣し、市職員と共に伴走型支援を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	３商店街に商店街の活性化や課題解決に向けて、商店街からの要望に応じた外部の専門家を派遣し、市職員と共に伴走支援を行った。
事業の今後について	商店街を支援することで、商店街の賑わいを創出し、まちなかへの来街者増加につなげていく。

⑬. 「学生のまち・金沢」推進事業（金沢市）

事業実施期間	平成２２年度～【実施中】
事業概要	・金沢学生のまち市民交流館を拠点に、学生団体等と協働し、まちなかの商店街との連携イベント等を実施 ・まちなかに居住し地域でのコミュニティ活動を行う学生に奨励金を交付（令和３年度～令和４年度）
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和４年度～令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	評価：多数のイベント開催により、まちなかの賑わい創出を促進している。 ○金沢まちづくり学生会議の活動 ・OPENCITY in KANAZAWA の開催（目標値：８０名 参加者 ６５名） ・木倉町フードフェスへの参加 ・まちなか学生まつりの開催（来場者約 ８６０名） ・まちづくりアイデアソンプロジェクトの実施 ○交流館運営会議の活動 ・やかたコンシェルジュ事業の実施 ・ぎゅぎゅっと夏まつりの開催
事業の今後について	事業を継続して行い、まちなかの賑わいを創出するとともに、金沢への愛着を深めることで定住を促進する。

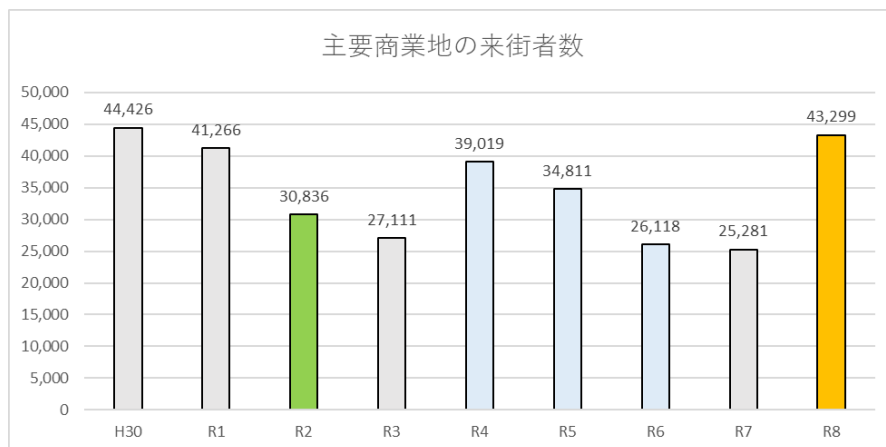
●目標達成の見通し及び今後の対策

令和７年度の実績値は、基準値を上回るなど数値は回復傾向にある。市街地再開発事業の計画を着実に遂行することで、まちなか定住促進をねらうとともに、都市再生緊急整備地域の指定を契機に経済の活性化や都市機能の向上を目指し、まちなかにおける人口増加につなげていく。引き続き、戸建住宅・共同住宅等への支援制度を継続し、制度の周知に加え、金沢ならではの暮らしを首都圏に向けて発信するとともに、移住希望者の受入体制を充実させるなど、目標達成に向けて最大限に努力していく。

(2)「主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 55～P. 58 参照

●調査結果と分析



年	単位：人
H30	44,426
R1	41,266
R2	30,836
R3	27,111
R4	39,019
R5	34,811
R6	26,118
R7	25,281
R8	43,289 (目標値)

※調査方法：毎年10月における中心市街地内主要商業地7か所の来街者の合計値（祝休日1日平均）

（調査対象：20歳以上の歩行者・自転車数（外国人を除く））

※調査月：令和7年10月

※調査主体：金沢市

調査地点	祝休日／日
金沢百番街前	5,304
ガーデンホテル前	4,650
コラボン前	334
エムザ前	2,280
大和前	5,907
プレーゴ前	4,556
砂場ビル前	2,250
合 計	25,281

〈分析内容〉

食料品をはじめとする物価高騰による消費者マインドの冷え込み等により、来街者の減少傾向は続いており、能登半島地震発生以前の水準には達していない。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 公共空間の利活用事業（金沢市）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	主たる商業・業務機能の集積価値が低減しているまちなかにおいて、人々が自由に「集い」「憩える」よう、公共空間の居心地や機動性を高める再整備を推進するとともに、多様な主体による利活用を

	促進することで、様々なアクティビティが展開される、持続可能で多様性に富んだ市街地への転換及びエリア価値の再構築を図るため、公共空間利活用のスケジュール調整等を行うコーディネーターの配置や、公共空間の利活用に関する協議会の運営を行う。また、まちなかアートの利活用の方法について検討する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	これまでに広場等利活用社会実験「マチノバ・カナザワ」を実施し、公共空間の日常的な利活用を促進するとともに、市内の公共空間を利用する際の「相談・申請窓口」や「提出書類」などの必要な情報をまとめた「公共空間使い方ガイド」を作成・公開している。
事業の今後について	引き続き、まちなかの広場、道路、公園、河川敷等の公共空間の日常的な利活用を促進し、市民・来街者等の利便性や居心地の向上と賑わいの創出を図る。

②. 犀川周辺エリア利活用推進(金沢市)

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	犀川周辺エリア利活用促進に向け、民間の創意工夫を活かした社会実験や、犀川周辺の空地の利活用可能性の調査等を実施し、まちなかに新たな価値を生み出すとともに、エリア一帯の魅力を向上させ、賑わいの連続性を高める。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	地域の代表者や周辺商店街の関係者等で構成する「犀川利活用推進協議会」が中心となり、犀川河川空間利活用社会実験「サイガワリバーサイドアクト」を実施している。 令和7年度には犀川周辺エリア内の整備の基礎となる方針等を取りまとめた「犀川周辺エリア魅力向上整備基本計画」を策定した。
事業の今後について	引き続き、官民連携による犀川周辺の日常的な利活用を促進し、中心市街地の賑わいの創出や回遊性の向上及び新たな魅力の創出を図る。

③. 都心軸活性化検討調査事業(金沢市)

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	ポストコロナを見据えて、人・もの・情報が集まる都心軸への転換を図るため、利用形態の変化の分析や、市民・民間企業等の新たなニーズの調査等を実施し、中長期的な変化を想定した上で活性化に資する方策を検討する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)

事業目標値・最新値及び進捗状況	令和４年度に都市デザインや民間都市開発等に携わる専門家へのヒアリングや都心軸に関する立地状況の変遷、求められるニーズ等の基礎調査を実施した。
事業の今後について	都心軸におけるエリアごとに個別の検討を進めることで賑わいの創出を図る。

④. 日本銀行金沢支店跡地利活用検討事業（金沢市）

事業実施期間	令和５年度～【実施中】
事業概要	令和５年に移転した日本銀行金沢支店の跡地の早期利活用をめざし、求められる機能を実現するための整備手法等を調査検討する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和５年度～令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和５～令和６年度にかけて、日銀跡地のあり方に関する検討組織にて、求められる機能やその実現に向けた整備手法等を調査検討した。その結果を踏まえ、令和７年度には、跡地の取得協議を本格化し、先行利活用に向けた改修設計に着手すると共に、取得に先がけ、国道側敷地の市民利用を推進し、金沢アカペラ・タウンの公開リハーサルステージとして利用している。令和８年度は、翌年度の先行利活用に向けた改修工事及び運営方法の検討を進めているところである。
事業の今後について	有識者や地元関係者による「先行利活用推進協議会」において、本格的な整備に向けた暫定利用の具体策を検討すると共に、令和９年度は 21 世紀美術館の仮移転に加え、市の既存事業をモデルとする等、まちなかの賑わい創出に資するイベントによる利活用を進めていく。

⑤. 都市再生緊急整備促進事業（金沢市）

事業実施期間	令和６年度～【実施中】
事業概要	都心軸の再興に向け、産学官金で構成する準備協議会を設置し、国の緊急整備地域指定を目指すために必要な事項を検討する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和６年度～令和７年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和５～令和６年度にかけて、準備協議会にてエリアと地域整備方針の素案を作成するなど、都市再生特別措置法に基づく都市再生緊急整備地域制度の検討協議を行い、令和７年度には都市再生緊急整備地域金沢駅東地域として指定を受けると共に、指定後の特例措置の一つである「都市再生特別地区」に関する運用指針を作成した。
事業の今後について	都ホテル跡地、日本銀行金沢支店跡地など、都心軸エリアの面的整備について検討協議を進めると共に、都心軸エリアの価値を高めるための空間創出のために、開発事業者の機運醸成に繋がる都市再生

	の取組を進めていく。
--	------------

⑥. 魅力あるまち歩きサイン整備事業(金沢市)

事業実施期間	令和6年度～【実施中】
事業概要	歩行者向けサインの配置計画を見直して集約化するとともに、木の活用や夜間照明等の必要な機能を強化し、都市景観向上と来訪者受入環境の充実を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和6年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和6年度～令和7年度にかけて歩行者向けサインの配置計画及びデザインを検討した。令和8年度に都心軸沿いへリニューアルサインを設置する予定。景観と調和したデザインとする一方で、視認性の向上やデジタル情報との連携による案内の充実化を図り、歩行環境が向上した。
事業の今後について	整備が不十分な案内もあるため、引き続き歩行者向けサインの入れ替えを行い、さらなる歩行環境の向上を図っていく。

⑦. まちなか歩行環境再整備事業(金沢市)

事業実施期間	平成22年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の商店街やその周辺において、快適な歩行空間を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(道路事業)(国土交通省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	泉町線、片町2丁目線を整備した。
事業の今後について	引き続き、対象エリア内の歩行空間の整備を進めることで賑わいの創出を図る。

⑧. 片町四番組海側地区市街地再開発事業(市街地再開発組合)

事業実施期間	令和6年度～【実施中】
事業概要	片町地区の老朽ビル更新のため、民間による再整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)(令和6年度～令和12年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	再開発事業の実施及び共同住宅、商業施設等、定住促進や賑わい創出施設を整備。平成29年度に市街地再開発準備組合を設立。令和元年度より基本計画の策定を進め、令和6年度に都市計画決定の告示を行った。
事業の今後について	令和9年度に組合設立(事業計画)認可予定であり、老朽ビルが多く残る都心軸において、新たに共同住宅や商業施設を整備すること

	により、まちなかの定住促進と賑わい創出を図る。
--	-------------------------

⑨. 片町四番組山側地区市街地再開発事業(市街地再開発組合)

事業実施期間	令和7年度～【実施中】
事業概要	片町地区の老朽ビル更新のため、民間による再整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)(国土交通省)(令和7年度～令和12年度)
事業目標値・新値及び進捗状況	令和4年度にまちづくりの方針と計画骨子を策定し、令和5年度に基本計画の素案を作成したが、その後、計画予定区域の一部で民間による開発が行われることとなり、今後は、区域変更に伴う施設コンセプトの策定後、基本計画の策定を目指す。
事業の今後について	再整備に向けた基本計画を策定し、老朽ビルが多く残る都心軸において、新たに共同住宅や商業施設を整備することにより、まちなかの定住促進と賑わい創出を図る。

⑩. 中心商業地集客促進事業(株金沢商業活性化センターほか)

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
事業概要	中心商業地の商店街の活性化に向けたイベント(複数の商店街が連携し、参加各店が期間限定メニュー等を提供する飲食イベントである金沢バルの開催や、商店街及び大型店等が連携し、夏まつり等の集客イベントや回遊性を高めるためのスタンプラリー)等の開催を支援する。中心商店街の誘客に向けた調査分析や誘客促進事業を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	「まちなか出店促進強化事業」、「金沢中心商店街集客・回遊性向上事業」、「むさし集客促進事業」、「金沢中心商店街外国人誘客マップ制作」、「金沢まちなか情報発信事業」などの多様な事業を展開し、金沢バルなどのイベント開催や商店街マップの作成を通じて回遊性の向上を図った。
事業の今後について	回遊性向上のイベントでは、参加店舗数やチケット販売枚数が事業開始当初より減少している取り組みもあるため、内容の充実とさらなる周知を図り、参加者の増加を目指す。また、時節に応じた商店街マップやホームページの更新を行うなど、環境整備を進めていく。

⑪. 中心市街地賑わい創出事業(商店街振興組合ほか)

事業実施期間	平成5年度～【実施中】
事業概要	中心商店街において、賑わい創出等に向けて取り組む事業(商店街

	の魅力を広く発信する HP やマップの作成、来街者が憩えるベンチ等の設置、利便性向上のための業務のオンライン化やキャッシュレス化に繋がる事業等に対し助成）を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和４年度～令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心商店街においては、賑わい創出などを目的とした事業（商店街の魅力を広く発信する HP やマップの作成、来街者が憩えるベンチの設置、利便性向上に資する業務のオンライン化やキャッシュレス化など）に対し、延べ 109 件の助成を行い、複数の中心商店街で活性化策が推進された。
事業の今後について	本制度を活用して毎年事業を実施する商店街も多い一方で、十分に活用できていない商店街も多く見受けられる。そこで、商店街サポートサロンなどの機能を強化するとともに、成功事例を交えながら本事業の周知を図り、一層の中心市街地活性化につなげていく。

⑫. まちなかミュージック＆アートストリート開催事業（金沢市）

事業実施期間	平成 11 年度～【実施中】
事業概要	中心商業地の広場等でアマチュアパフォーマーによるイベント（まちなかの空きスペースを活用し、地元のアマチュアバンドや歌手等による演奏や、太鼓、ダンスパフォーマンスなど年間を通し複数回のステージイベント）を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和４年度～令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	まちなかのオープンスペースや商店街イベントと連携し、「マップス（まちなかパフォーマンスシアター）」や「キッズステージ」を片町きらら、香林坊アトリオ、近江町いちば館広場などで開催した。 また、金沢ケーブルと連携した公開生放送番組「マップスアワー」を香林坊ラモーダで開催した。 令和４～令和７年度：開催回数 136 回、集客人数約 29,790 人
事業の今後について	開始当初に比べ開催回数は減少したものの、集客数は増加傾向にあり、内容の充実が図られている。次期計画でもさらなる内容充実を目指し、魅力的なイベントを複数開催するなど賑わいの創出を図る。

⑬. 冬の夜景創出（ライトアップ）事業（金沢市）

事業実施期間	昭和 62 年度～【実施中】
事業概要	都心軸の主要交差点周辺における冬期ライトアップの実施に助成する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和４年度～令和８年度）

事業目標値・最新値及び進捗状況	来街者が減少しやすい冬期に、市中心部のライトアップを支援し、良好な夜間景観を創出することで、主要商業地の歩行者及び自転車通行量の増加につながった。
事業の今後について	市街地の主要交差点周辺の３カ所で行われるライトアップ事業に助成を行い、効果的な夜間景観の創出につなげていく。

⑭. まちなかアートマネジメント事業（公立大学法人金沢美術工芸大学）

事業実施期間	平成 18 年度～【実施中】
事業概要	石引商店街全体を芸術の場として捉え、空店舗を活用して、学生と市民及び商店街が協働したアートプロジェクトや、大学の多目的情報発信基地の運営を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和４年度～令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	商店街の空き店舗を「アートベース石引」として活用し、学生による展示会を開催している。令和７年度は展示会を 16 回開催し、延べ 1,161 人の来場者が訪れた。
事業の今後について	今後も取り組みを継続し、商店街の魅力を向上させ、学生と住民との交流を促進することで「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につなげていく。

⑮. いきいきギャラリー運営事業（金沢市）

事業実施期間	平成 10 年度～【実施中】
事業概要	商店街の空店舗を利用し、地域住民の参加と協力により、高齢者・障害のある方の手作り商品を販売し、社会参加と自立支援を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和４年度～令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	高齢者・障害のある方の手作り商品を販売し、社会参加と自立支援を促進することで、地域の活性化を促し、主要商業地の休日（１日間）の歩行者及び自転車通行量の増加に寄与した。
事業の今後について	引き続き、高齢者・障害のある方の手作り商品を販売し、社会参加と自立支援を促し、地域の活性化につなげていく。

⑯. 観光事業助成事業（金沢市）

事業実施期間	昭和 60 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地で開催される金沢の歴史、伝統、文化及び地域に関する各種観光イベントに助成する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和４年度～令和８年度）

事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地で開催される金沢の歴史・伝統・文化及び地域に関する観光イベントに助成を行うことで、来街者や市民の参加を促し、主要商業地の休日（1日間）の歩行者及び自転車通行量の増加に寄与した。
事業の今後について	誘客につながる各種イベントに助成を行い、内容の充実を図ることで、魅力的なコンテンツを提供していく。

⑰. いしかわ・金沢風と緑の楽都音楽祭開催事業（いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭実行委員会）

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	金沢駅周辺を中心に、ゴールデンウィーク期間中、世界の著名な音楽家から市民音楽家までが参加する音楽祭をまちなかの複数会場で開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 4 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	毎年多様なテーマや多彩なプログラムを設けたことで、来場者数は年々増加しており、令和 4 年度～令和 7 年度で約 42 万人の集客があった。
事業の今後について	金沢の文化に対する思いを踏まえながら音楽祭を育て、より多くの市民や来街者を引きつけるイベントとすることで、賑わいの創出につなげていく。

⑱. 金沢ウォーク開催事業（金沢市）

事業実施期間	平成 8 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の公共施設、文化施設などを取り入れ、金沢の魅力を再認識できるコースを設定したウォーキング大会を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 4 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年度は、新たに企画した街中のグルメを楽しむコースが好評を博し、参加者は例年の約 1,500 人から約 2,900 人に増加するなど、多くの市民が春の金沢まちなかを巡り、幅広い世代に親しまれるイベントとなった。令和 7 年度からは能登復興支援大会として開催し、被災地からの参加者の負担軽減や能登産品の購入ができるブースを設置するなど復興支援を行った。
事業の今後について	協力店舗の拡大や各店舗への人流増加など、ウォーク開催後も継続してまちなかへの来訪につながる仕掛けを検討していく。

⑲. 金沢アカペラ・タウン開催事業（金沢市・金沢アカペラ・タウン実行委員会）

事業実施期間	平成 22 年度～【実施中】
--------	----------------

事業概要	金沢市内中心部のまちかどをステージとしたアカペラの祭典を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	金沢アカペラ・タウンの観客数は 88,314 人(令和4年度～令和7年度)となり、コロナ禍で減少した観客数はコロナ前と同程度まで回復した。これにより、まちなかの賑わい創出及び交流人口の拡大に繋がった。
事業の今後について	引き続きアカペラの祭典を開催するとともに、幅広い世代を対象に市民への周知・広報を強化し、まちなかの賑わい創出を図る。

⑳. 伝統工芸・文化体験コーナー及び伝統文化(ナイトシアター)実演事業(金沢市)

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	金沢中央観光案内所(南町)において、国内外の旅行者への観光案内をはじめ、荷物預かりや各種手配等のサービスのほか、伝統工芸・文化体験の提供等を行い、中長期の滞在型観光を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	隔週で金曜・土曜の18時30分から約1時間程度、「いけ花、箏曲、剣詩舞、太棹三味線」や「邦楽小唄、舞踊、民謡、太鼓」など4つの演目を順次上演した。利用者実績799名(令和7年度)
事業の今後について	引き続き、芸術文化ナイトシアターを開催することで、夜間の賑わいの創出につなげていく。

㉑. 商店街地域コミュニティ活性化イベント推進事業(金沢市)

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	商店街団体が地域住民との交流促進等を目的として実施する美化活動やまつり等のイベントの開催に対し補助金を交付する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	商店街団体が地域住民との交流促進を目的に実施する美化活動やまつり等のイベント開催に対して補助金が交付されるが、外部人材と連携した場合は補助率が上乘せされる。このため、多くの商店街が外部人材、特に学生と連携し、地域コミュニティの交流や活性化を促進することで、にぎわいの創出につながった。
事業の今後について	現在、商店街団体が開催する美化活動やまつり等の地域住民交流促進を目的としたイベントにおいて、学生との連携件数は20件(全体の68%)である。しかし、人口減少や担い手不足が深刻化する中、今後はより多くの商店街が外部人材と連携し、新たな魅力を創出し

	て来街者の増加を図るとともに、地域コミュニティの交流や活性化につなげていく。
--	--

②②. 中心市街地出店促進フォローアップ事業(金沢市)

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の空き店舗への出店者に出店奨励金と継続奨励金を交付するとともに、事業継続に向けたフォローアップを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地の空き店舗への出店者に対し出店奨励金と継続奨励金を交付し、事業継続に向けたフォローアップを実施した結果、これまでに192店舗の出店を支援した。
事業の今後について	引き続き、空き店舗の出店者に対し、事業継続に向けたフォローアップを実施することで賑わいの創出を図る。

②③. 金沢JAZZ STREET開催事業(金沢JAZZ STREET実行委員会)

事業実施期間	平成21年度～【実施中】
事業概要	9月の3連休に、国内外のトップアーティストや学生・社会人バンドが参加するジャズの祭典を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金(内閣府)(令和3年度～令和4年度) デジタル田園都市国家構想交付金(内閣府)(令和5年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	金沢JAZZ STREETにおける令和4年度～令和7年度の観客者数は約32万人となり、年々増加傾向にあることから、コロナ禍前の水準まで回復しつつある。これにより、まちなかの賑わい創出や交流人口の拡大につながった。
事業の今後について	引き続きジャズの祭典を開催するとともに、市民・商店街・地元のジャズ文化の担い手等との連携を強化することで、さらなるまちなかの賑わい創出を目指す。

②④. 金沢中心商業地三地区回遊性向上事業(金沢中心商業地三地区連携実行委員会・金沢駅前賑わい協議会)

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	中心商業地の事業者が連携し、誘客と回遊性向上に向けイベント等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	片町・香林坊、武蔵、金沢駅前の中心商業地の事業者が連携し、三地区を巡り、多世代が楽しみながら消費喚起につながるイベントの開催や情報発信を行い、中心商業地の回遊性向上と賑わい創出を図る。

	った。最近では、インバウンド集客の取り組みとして海外インフルエンサーを起用した情報発信や、店舗掲示用のインバウンド対応ポップ作成などを実施し、回遊性の向上に寄与した。
事業の今後について	中心商業地区の三地区連携をさらに強化し、第４期で実施した内容を踏まえて、より効果的な取り組みを検討する。近年は情報発信活動が中心的な取り組みとなっているため、これらと連動し相乗効果を図れるイベント等を開催し、「歩きたくなるまちなか」の形成を目指す。

●目標達成の見通し及び今後の対策

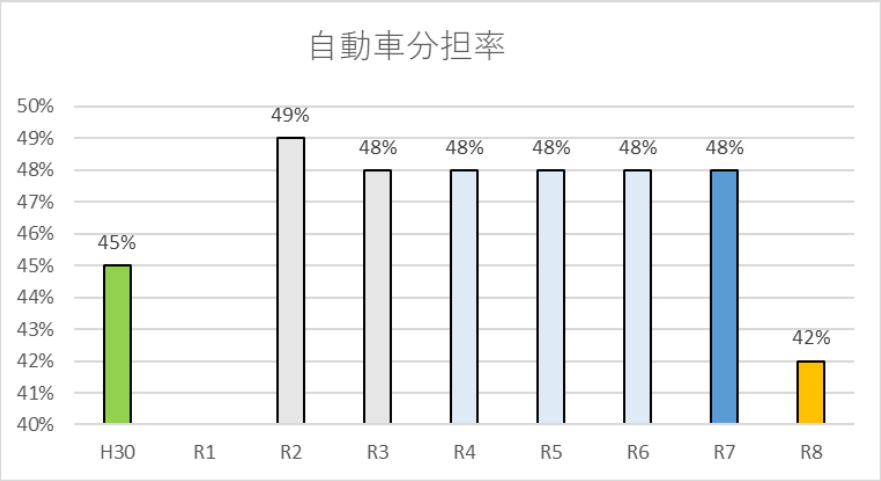
取組（事業等）進捗状況は概ね予定どおりだが、令和７年度の実績値は基準値を下回った。令和６年１月に発生した能登半島地震の影響が大きく表れているものと考えられる。しかし、地震により損壊した建造物の復旧支援を実施し、まちなみの復興を図るとともに、空き店舗の解消につながるデジタル企業やクリエイターの誘致、まちなかへの商業機能の集積を促進するなどの新たな取組により、中心市街地の活性化と来街者の増加につなげ、目標達成を目指す。

今後は、市街地再開発を計画的に進め、まちなかの定住促進や賑わい創出を目指すことに加え、跡地の先行利活用を促進していくことで、金沢の魅力の維持向上を図る。

（３）「まちなかにおける自動車分担率」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 62～P. 65 参照

●調査結果と分析



年	単位：％
R30	45 (基準年値)
R3	48
R4	48
R5	48
R6	48
R7	48
R8	42 (目標値)

※調査方法：まちなかにおける移動手段のモニタリング調査

※調 査 月：９～１０ 月

※調査主体：金沢市

※調査対象：まちなかの発生交通量のうち、自動車によるものの割合

〈分析内容〉

新型コロナウイルス感染拡大後からバス等公共交通利用を避ける傾向が続いており、燃料費の高騰に起因する公共交通機関の運賃高騰により利用者が減少しているものと考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 歩行空間創出事業(金沢市)

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	地域コミュニティバスや通学路線において、歩行者と公共交通を優先した交通空間を整備するため、狹隘道路において側溝改良（蓋かけなど）を行い、歩行空間の確保を図る。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業費補助(国土交通省)(令和4年度～)
事業目標値・最新値及び進捗状況	対象地区内の狹隘道路を順に施工。
事業の今後について	本多町1丁目にて側溝整備を予定。

②. 通勤時パーク・アンド・ライド(金沢都市圏パーク・アンド・ライドシステム協議会)、 観光期パーク・アンド・ライド(パーク・アンド・ライドシステム実行委員会)、 休日等パーク・アンド・ライド(金沢市)

事業実施期間	平成8年度～【実施中】		
事業概要	通勤時・観光期等の交通渋滞の緩和を目的として、郊外の民間商業施設等の駐車場を利用したパーク・アンド・ライドシステムを実施する。		
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)		
事業目標値・最新値及び進捗状況	○通勤時パーク・アンド・ライド駐車場収容台数(石川中央都市圏全体)		
	年度	収容台数	利用者数
	目標値	2,056	1,653
	R7.3時点	1,374	682
	○観光期パーク・アンド・ライド利用者数		
	年度	収容台数	利用者数
	R7.5/3～5	927	2,116
	※石川県建設総合センター、東金沢駅西口P&R駐車場、森本駅東口P&R駐車場、公設花き市場、石川県庁、NTT鳴和、北陸電話工事の観光期の利用者数		

	評価：利用者アンケートではほぼ全員が「また利用したい」と回答しており、引き続き周知に努める。 ○休日等パーク・アンド・ライド利用者数 <table> <tr> <th>期間</th><th>利用者数</th></tr> <tr> <td>R 7. 4 ～ R 8. 3</td><td>22, 437</td></tr> </table> ※東金沢駅西口 P&R 駐車場、森本駅東口 P&R 駐車場の土・日・祝日の利用者数 評価：利用者数は順調に伸びており、引き続き周知に努める。	期間	利用者数	R 7. 4 ～ R 8. 3	22, 437
期間	利用者数				
R 7. 4 ～ R 8. 3	22, 437				
事業の今後について	・通勤時パーク・アンド・ライド駐車場の整備、利用促進 ・通勤時、観光期等のパーク・アンド・ライド駐車場の取組を継続し、市内中心部の交通渋滞を緩和				

③. 歩けるまちづくり推進事業（金沢市、石川県、県警）

事業実施期間	平成 14 年度～【実施中】
事業概要	地元と市長が「歩けるまちづくり協定」を締結し、構想具現化の取組に対して、各種支援を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 4 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	協定締結地区へのフォローアップ等を実施し、歩けるまちづくりを推進している。 ・歩けるまちづくり協定締結地区 6 地区 ・まちなかアートベンチの設置 11 か所 22 基
事業の今後について	・要望地区の状況調査 ・歩けるまちづくり協定フォローアップ ・まちなかアートベンチの維持管理

④. 金沢都心軸交通環境改善調査（金沢市、石川県）

事業実施期間	平成 8 年度～【実施中】
事業概要	新交通システム導入の前提となる公共交通の走行空間の確保及び利用者の増加を図るための交通実験を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 4 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	安全で快適な公共交通環境を整備し、郊外からまちなかへのバス利用者増加を目指して「バス待ち環境の改善に向けた検討」を行った。モデル路線にはバリアレス縁石を設置し、乗降時の安全性向上を図った。
事業の今後について	都心軸上では依然として公共交通の走行空間確保やバス待ち環境に課題があり、改善が必要である。引き続き石川県など関係機関と

	連携し、市内中心部の公共交通空間確保や利便性向上のため交通実験を実施していく。
⑤. モビリティ・マネジメント事業（金沢市）	
事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	幅広い層に向けて、過度に自動車に依存しない意識を育むための社会実験や講演等を実施し、公共交通機関を利用したまちなかへの来街や周回を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和４年度～令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	幅広い層に対して意識啓発を行った。 ・カーフリーデー来場者 2,500 人（令和７年度） ・高齢者モビリティ・マネジメント開催２回 190 人（令和７年度）
事業の今後について	・マイカーから公共交通への転換を啓発するカーフリーデーイベントを実施 ・学生・大学・交通事業者・行政が連携して、バスと公共シェアサイクル「まちなか」を組み合わせた公共交通の利用促進策を検討し試行する。併せて、学生自身が「まちなか」の運営に関わることを通じて、「まちなか」を切り口としたMMの担い手となることを目指す ・高齢者交通安全教室を活用し、高齢者に対してモビリティ・マネジメント講義を実施 ・商店街を中心にトランジットモールの社会実験を実施
⑥. 金沢MaaS推進事業（金沢市、金沢 MaaS コンソーシアム）	
事業実施期間	令和２年度～【実施中】
事業概要	金沢に相応しい次世代交通サービスの実現に向け、金沢MaaSコンソーシアムを設立するとともに、鉄道・バスの乗り継ぎ円滑化実験や金沢まちなか交通ガイドのデジタル化を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和５年度～令和６年度） 新しい地方経済・生活環境創成交付金（第２世代交付金）（内閣府）（令和７年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	デジタル交通サービス「のりまっし金沢」スマホアプリ版の開発や交通データ活用事業など、本市にふさわしい次世代交通サービス実現に向けたコンソーシアムのプロジェクトを多数立ち上げ実施し、公共交通優先のまちづくりを推進した。
事業の今後について	公共交通の利用促進・利便性向上に資するプロジェクトを順次企画・実施し、次世代交通サービスの実現に向けた議論も進めることで、公共交通優先のまちづくり推進につなげていく。

⑦. 新しい交通システム導入事業(金沢市)

事業実施期間	令和２年度～【実施中】
事業概要	新しい交通システム導入に向けた環境整備や調査を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市・地域交通戦略推進事業）（国土交通省）（令和２年度～令和４年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	新しい交通システム（第１段階）として、バスのサービス水準向上に取り組んでおり、令和９年度の連節バス実証運行に向けて、令和７年度は平和町線の走行環境を４箇所を整備した。また、バス専用レーン拡大に向けた社会実験を実施し、公共交通の利用環境向上と利用促進につなげた。
事業の今後について	令和８年度以降も平和町線の走行空間整備を継続するとともに、金沢駅西口から金沢港クルーズターミナル間の連節バス走行空間整備を実施し、今後の実証運行準備を進める。並行して連節バス導入が効果的な路線を調査し、導入可能性を探ることで、公共交通のさらなる利便性向上と公共交通への転換につなげる。

⑧. 第３次金沢交通戦略推進事業(金沢市)

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	中心市街地における交通機能の連携強化、交通利用環境の向上等に向け、新しい交通システム導入を含めた環境整備や調査を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市・地域交通戦略推進事業）（国土交通省）（令和３年度～令和４年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	本計画では、進捗管理として観測指標を設定しており、各指標概ね基準値を維持あるいは改善する傾向にあり、目標に向けて順調に推移している。
事業の今後について	令和９年度で満了となる現計画のフォローアップを行い、課題等を把握・整理したうえで、次期計画の策定に着手する。

⑨. 人と環境にやさしいバス車両の導入、バス停のバリアフリー化(金沢市)

事業実施期間	平成９年度～【実施中】
事業概要	交通事業者が実施する、ノンステップバス車両の導入やバス停のバリアフリー化整備等に対し支援する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和７年度 ノンステップバス導入台数 １７ 台、バス停上屋整備 １ 件
事業の今後について	引き続き交通事業者が実施するノンステップバス車両導入等に対し支援を行っていく。

⑩. 自転車利用推進事業（金沢市）

事業実施期間	平成 20 年度～【実施中】			
事業概要	金沢市自転車活用推進計画の具現化として、自転車通行空間の整備、自転車駐輪環境の整備、公共シェアサイクル「まちなり」の運営、自転車ルールの遵守の啓発を実施する。			
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし			
事業目標値・最新値及び進捗状況	年度	月額会員数	月額会員の 1 日平均利用回数	
	目標値	1,081	0.89	
	令和 7 年	1,207	1.86	
事業の今後について	(まちなり関連) ・ 第 3 期まちなりの運営 【その他】 ・ 自転車走行指導帯等の整備 ・ 駐輪場の照明の LED 化、防犯カメラの設置 ・ 自転車ルールマナー、ヘルメット着用促進等の啓発活動			

⑪. 金沢ふらっとバス運行事業（金沢市）

事業実施期間	平成 10 年度～【実施中】			
事業概要	循環型コミュニティバス「金沢ふらっとバス」を 4 ルート運行し、公共交通優先のまちづくりを推進する。此花ルート（H10～）/菊川ルート（H11～）/材木ルート（H14～）/長町ルート（H20～）			
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし			
事業目標値・最新値及び進捗状況	本市中心部の公共交通不便地域における移動性向上を図るため、住宅地と交通結節点や商店街を結ぶ循環バスを運行し、自家用車から公共交通への転換を促進した。			
事業の今後について	利用促進施策を実施して乗客数増加を図るとともに、金沢ふらっとバスの利用促進に資する取り組みを企画・実施し、公共交通優先のまちづくり推進につなげていく。			

⑫. 金沢交通コンシェルジュ設置事業（金沢市・金沢市交通まちづくり協議会）

事業実施期間	平成 25 年度～【実施中】			
事業概要	二次交通等目的地までの移動手段をわかりやすく案内するため、金沢駅東広場にある案内所に、案内人を配置し、交通案内機能の充実を図る。			
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし			
事業目標値・最新	二次交通など目的地までの移動手段を分かりやすく案内するため、			

値及び進捗状況	金沢駅東広場の案内所に案内人を配置し、交通案内機能の充実を図った。 令和4年～令和7年 一日当たりの平均案内件数：約170件
事業の今後について	常時1名体制で運営しており、体調不良などで代替者を確保することが難しいため、代替者が滞りなく案内できるようなマニュアルの整備・更新を行うことで、来街者への相談体制を強化し、利用者の利便性向上につなげていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

取組（事業等）の進捗状況は概ね予定どおりである。実績値は新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準にはまだ達していないものの、金沢市の公共シェアサイクル「まのり」の年間利用者数は、令和7年度に39万4,244人に達し、過去最多を記録した。近年はポート数や自転車台数の拡充が進み、観光客の周遊手段としてだけでなく、地域住民の生活の足としての利用も急増している。また、「通勤時パーク・アンド・ライド」の利用も堅調に推移しており、これらのことから回復傾向にあると判断できる。

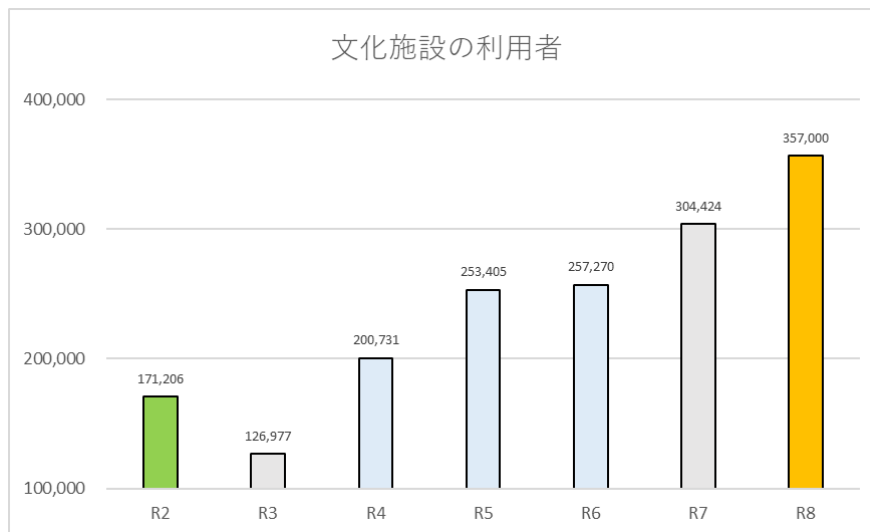
今後も利用者のさらなる増加を目指し、自転車台数やサイクルポートの増設を進めるとともに、通勤時パーク・アンド・ライドの駐車場収容台数の増加による利用促進に努める。また、他の取組（事業等）についても周知を強化するなど、施策を総合的かつ計画的に推進することで、目標達成を目指す。

なお、実績値については、今年度、第3次金沢交通戦略のフォローアップにおいて、更新を予定している。

(4)「中心市街地の市文化施設(14 施設)と金沢未来のまち創造館の利用者数」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 52～P. 54 参照

●調査結果と分析



年	単位：人
R2	171,206 (基準年値)
R3	132,534
R4	219,916
R5	275,950
R6	284,029
R7	332,402
R8	357,000 (目標値)

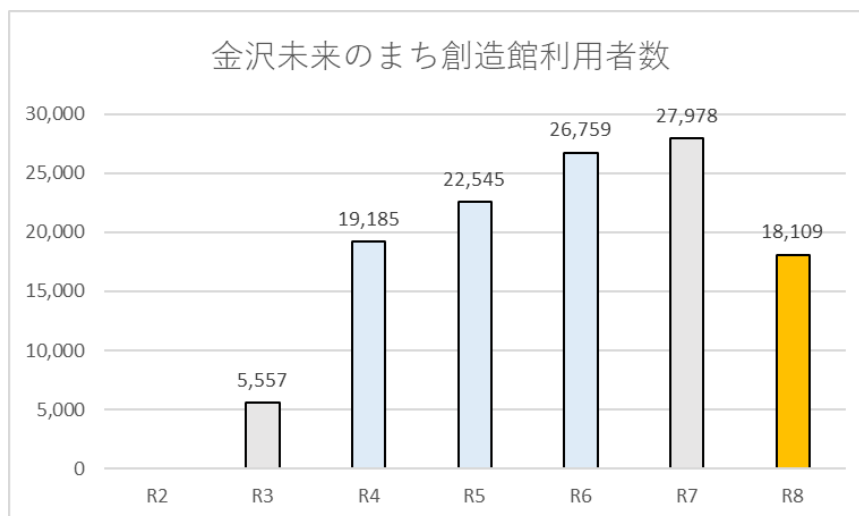
※中心市街地の市文化施設(14 施設)と金沢未来のまち創造館の合計利用者数

※調査方法：利用者数を集計

※調査月：1月～12月

※調査主体：金沢市

※調査対象：中心部の市文化施設(14 施設)の利用者数



※調査方法：利用者数を集計

※調査月：4月～3月

※調査主体：金沢市

※調査対象：金沢未来のまち創造館の利用者数

〈分析内容〉

文化施設については、多彩な自主事業の開催や SNS による積極広報に加え、石川県観光連盟との連携したデジタルスタンプラリー（アニメコラボ）等の取組により利用者数が増加したものと推測される。

金沢未来のまち創造館については、令和3年8月の供用開始以降、様々なイベントの開催等により目標を上回る利用者数となった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 美しい都市景観形成事業(金沢市)

事業実施期間	平成19年度～【実施中】
事業概要	金沢市景観総合計画及び景観計画に基づき適切な景観誘導を行うとともに、まちなかにおける違反広告物の除去等を行い、美しい景観の形成を目指す。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	違反広告物の除去等について、まちなか区域(旧城下町区域)を9つのエリアに分け、重点的な是正指導を行っている。
事業の今後について	引き続き、金沢市景観総合計画及び景観計画に基づいた適切な景観誘導を行うとともに、まちなかにおける違反広告物の除去等を行うことでまちなかの魅力をさらに高めていく。

②. まちなかに残る歴史遺産の保存・活用事業(金沢市)

事業実施期間	平成22年度～【実施中】
事業概要	歴史的建造物の耐震・修理事業や利活用を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(国土交通省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	「旧森紙店」の文化芸術的な活用に向けた改修工事に着手
事業の今後について	令和10年4月以降の開館をめざし、準備を進めていく。

③. 伝統的建造物群保存地区保存事業(金沢市)

事業実施期間	平成13年度～【実施中】
事業概要	伝統的建造物群保存地区である東山ひがし地区、主計町地区、卯辰山麓地区及び寺町台地区内の建造物等の修理・修景事業に対し助成を行い、地区の保存を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文部科学省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	伝統的建造物群保存地区として歴史的まちなみの面的保存を進め、隣接する、こまちなみ保存区域等との連携を図ることにより、まちなかの魅力がさらに高まった。
事業の今後について	引き続き、伝統的建造物群保存地区にふさわしい景観を保全するため、建造物の修理・修景や防災対策などを行っていく。

④. ひがし茶屋街（旧一番丁通り）無電柱化事業（金沢市）

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	ひがし茶屋街（旧一番丁通り）において、住民の合意形成を図り、低コストの手法を組み合わせた金沢方式無電柱化事業を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	無電柱化推進計画事業補助（国土交通省）（令和 2 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	電線管理者や上下水道施設管理者等との調整に時間を要したが、今後も引き続き、計画通り完成を目指して事業を推進していく。
事業の今後について	資材や人件費が高騰する中、安定した財源確保が必要であることから、新材料・新工法の導入によるコスト削減と工期短縮を更に推進していく。また、既存施設（上下水道、ガス、暗渠等）が密集する地下空間において、無電柱化の施工性と維持管理の両立が必要であることから、道路管理者や事業者、沿道住民など、多様な利害関係者との合意形成を円滑に進めていく。

⑤. 旧観音町通り無電柱化事業（金沢市）

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	東山（旧観音町通り）において、住民の合意形成を図り、低コストの手法を組み合わせた金沢方式無電柱化事業を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	無電柱化推進計画事業補助（国土交通省）（令和 2 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年度までに一部区間が完成し、良好な景観形成と安全で安心な通行空間が確保された。今後も引き続き、計画通り完成を目指して事業を推進していく。
事業の今後について	資材や人件費が高騰する中、安定した財源確保が必要であることから、新材料・新工法の導入によるコスト削減と工期短縮を更に推進していく。また、既存施設（上下水道、ガス、暗渠等）が密集する地下空間において、無電柱化の施工性と維持管理の両立が必要であることから、道路管理者や事業者、沿道住民など、多様な利害関係者との合意形成を円滑に進めていく。

⑥. 下新町無電柱化事業（金沢市）

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	下新町において、住民の合意形成を図り、低コストの手法を組み合わせた金沢方式無電柱化事業を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	無電柱化推進計画事業補助（国土交通省）（令和 2 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業が着実に進んでおり、計画どおり令和 9 年度の完成を目指す。

事業の今後について	資材や人件費が高騰する中、安定した財源確保が必要であることから、新材料・新工法の導入によるコスト削減と工期短縮を更に推進していく。また、既存施設（上下水道、ガス、暗渠等）が密集する地下空間において、無電柱化の施工性と維持管理の両立が必要であることから、道路管理者や事業者、沿道住民など、多様な利害関係者との合意形成を円滑に進めていく。
-----------	---

⑦. 旧鶴来街道（六斗の広見）無電柱化事業（金沢市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	旧鶴来街道（六斗の広見）において、住民の合意形成を図り、低コストの手法を組み合わせた金沢方式無電柱化事業を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	無電柱化推進計画事業補助(国土交通省)(令和２年度～令和３年度) 都市構造再編集集中支援事業費補助（令和４年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業が着実に進んでおり、今後も引き続き、計画通り完成を目指して事業を推進していく。
事業の今後について	資材や人件費が高騰する中、安定した財源確保が必要であることから、新材料・新工法の導入によるコスト削減と工期短縮を更に推進していく。また、既存施設（上下水道、ガス、暗渠等）が密集する地下空間において、無電柱化の施工性と維持管理の両立が必要であることから、道路管理者や事業者、沿道住民など、多様な利害関係者との合意形成を円滑に進めていく。

⑧. 旧北国街道（ふくろう通り）無電柱化事業（金沢市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	旧北国街道（ふくろう通り）において、住民の合意形成を図り、低コストの手法を組み合わせた金沢方式無電柱化事業を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	無電柱化推進計画事業補助(国土交通省)(令和２年度～)
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和８年度事業完了予定
事業の今後について	事業効果について、調査（歩行者通行量など）を行っていく。

⑨. 旧古寺町通り、蛤坂無電柱化事業（金沢市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	旧古寺町通り、蛤坂において、住民の合意形成を図り、低コストの手法を組み合わせた金沢方式無電柱化事業を推進する。
国の支援措置名	無電柱化推進計画事業補助(国土交通省)(令和２年度～令和４年

及び支援期間	度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	電線管理者や上下水道施設管理者等との調整に時間を要したが、今後も引き続き、計画通り完成を目指して事業を推進していく。
事業の今後について	資材や人件費が高騰する中、安定した財源確保が必要であることから、新材料・新工法の導入によるコスト削減と工期短縮を更に推進していく。また、既存施設（上下水道、ガス、暗渠等）が密集する地下空間において、無電柱化の施工性と維持管理の両立が必要であることから、道路管理者や事業者、沿道住民など、多様な利害関係者との合意形成を円滑に進めていく。

⑩. まちの風情を感じる夜間景観創出事業(金沢市)

事業実施期間	令和6年度～【実施中】
事業概要	本市まちなかの景観資源のライトアップを充実させ、連なりのある魅力的な夜間景観の創出を図る
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業費補助(国土交通省)(令和6年度～)
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年度に6か所のライトアップを行い、連なりのある魅力的な夜間景観を創出し、夜間におけるまちの回遊性を向上させた。
事業の今後について	引き続き、まちなかの景観資源のライトアップを行い、魅力的な夜間景観を創出し、夜間におけるまちの回遊性の向上を図る。

⑪. まちなかに残る歴史遺産の保存・活用事業(金沢市)

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	歴史文化資産である惣構跡を修理する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業費補助(国土交通省)(令和4年度～)
事業目標値・最新値及び進捗状況	西内惣構跡の園地整備工事及び西外惣構跡の修繕工事を行った。中心市街地に残る、貴重な歴史文化資産を保全することにより、面的なエリアとしての価値が向上し、まちなかの魅力がさらに高まった。
事業の今後について	引き続き、惣構跡の保全に取り組み、まちなかの魅力向上につなげる。

⑫. かなざわ新町家創出事業(金沢市)

事業実施期間	令和6年度～【実施中】
事業概要	金沢らしいまちなみ景観を保全・継承するため、金澤町家のさらなる保全・活用を促進するとともに、現代の生活スタイルやニーズに対応した「かなざわ新町家」の普及啓発を図る。
国の支援措置名	都市構造再編集中支援事業(国土交通省)(令和6年度～)

及び支援期間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	認知度向上のためロゴマークを制作し、「かなざわ新町家普及推進協議会」を設立した。歴史的なまちなみの継承・向上に寄与するとともに、まちなかの魅力が向上することで、まちなか定住・移住の促進につなげていく。
事業の今後について	協力事業者の募集・認定等の普及啓発活動を検討・実施し、「かなざわ新町家」の普及促進につなげる。

⑬. 歴史的まちなみ修復事業(金沢市)

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	歴史的まちなみを維持してきた、こまちなみ保存区域（7 地区）における、まちなみ景観向上のための地元主体の計画づくりを支援し、建築物の外観改修等について助成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金(内閣府)(令和 3 年度～令和 4 年度) デジタル田園都市国家構想交付金(内閣府)(令和 5 年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	こまちなみ保存区域において、まちなみ保全に対する住民意識を高めることにより、敷地の駐車場化等を防ぎ、歴史的まちなみの景観向上を図ることで、まちなかの魅力がさらに高まった。
事業の今後について	引き続き、建物の外観や土塀の修景、構造補強等に対し助成を行い、まちなみ景観の向上を図る。

⑭. 被災寺社建造物復旧支援事業費補助(金沢市)

事業実施期間	令和 7 年度～【実施中】
事業概要	伝統的寺社建造物等の復旧にかかる所有者負担を軽減する。
国の支援措置名及び支援期間	能登半島地震復興基金(令和 7 年度～令和 10 年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年能登半島地震により被災した伝統的寺社建造物について、能登半島地震復興基金を活用して復旧に要する所有者負担を軽減することにより、歴史的まちなみの景観向上を図ることで、まちなかの魅力を回復した。
事業の今後について	引き続き、令和 6 年能登半島地震による被害からの復旧事業に要する経費への支援について、所有者等負担分を追加で助成することにより、早期復旧を図っていく。

⑮. 被災歴史的建造物復旧支援事業費補助(金沢市)

事業実施期間	令和 7 年度～【実施中】
事業概要	国の補助制度の対象とならない歴史的建造物の復旧に対し助成する。
国の支援措置名	能登半島地震復興基金(令和 7 年度～令和 10 年度)

及び支援期間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和6年能登半島地震により被災した金澤町家・伝統的寺社建造物・こまちなみ保存区域内の建造物について、能登半島地震復興基金を活用して着実な復旧を進めることにより、歴史的まちなみの景観向上を図ることで、まちなかの魅力を回復した。
事業の今後について	引き続き、能登半島地震復興基金を活用した補助により、令和6年能登半島地震被害からの早期復旧を図っていく。

⑯. 金沢百万石まつり開催事業（金沢市）

事業実施期間	昭和27年度～【実施中】
事業概要	本市中心部において百万石行列や踊り流し、薪能、茶会など加賀百万石の文化、芸能にふれることのできる一大イベントを開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和4年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	第74回「金沢百万石まつり」の来場者数 令和7年度：約53万3千人
事業の今後について	本市の歴史文化を活かした記念事業等を新たに開催し、本市の魅力を一層高めるとともに、市民や来街者を引きつけるイベントとして賑わいの創出につなげていく。

⑰. 金沢マラソン開催事業（金沢市）

事業実施期間	平成27年度～【実施中】
事業概要	金沢の歴史的景観やまちなみ、豊かな自然とふれあうことができるマラソン大会を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和4年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	金沢マラソン2025の参加ランナー数 令和7年度：約1万5千人 ※金沢マラソンもてなしメッセ来場者数：約2万5千人 沿道応援者数：約18万1千人
事業の今後について	引き続き、中心市街地を走るマラソン大会の開催を通じて、歴史文化遺産や自然に富んだ金沢の魅力を全国に発信し、交流人口を拡大することで、まちなかの魅力をさらに高めていく。

⑱. 文化施設活性化推進事業（金沢市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	文化施設への誘客を促進するため、文化施設の展示機能を強化するなど、金沢の文化を体験できるコンテンツ等を開発
国の支援措置名	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和4年度～令和8年度）

及び支援期間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	区域内の文化施設（14 施設）の来場者数 304,424 人（令和 7 年）新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っていないものの、県観光連盟のスタンプラリーとの連携や国立工芸館と連携したイベントの開催等により利用者数は回復傾向にある。
事業の今後について	引き続き、本市の文化体験ができるコンテンツや金沢ミュージアム ⁺ （プラス）などの Web サイトにて魅力を発信し、来館とまちなかの回遊を促し、賑わい創出を図っていく。

⑱. 市民リポーター事業（金沢市）

事業実施期間	令和 2 年度～【実施中】
事業概要	本市中心部の魅力を市民が取材し、SNS 等を活用して情報を発信する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 4 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	市民リポーターが、長町武家屋敷跡界隈に点在する歴史ある庭園や金沢の食文化の魅力を国内外に発信する「KANAZAWA おいしいフェスタ」を取り上げ、本市の PR を行った。
事業の今後について	この事業を通して引き続き魅力ある金沢を発信していき、金沢市の活性化につなげていく。

⑲. 地域無形民俗文化財保存継承事業（金沢市）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	無形民俗文化財（加賀獅子など）の共演会を中心市街地で開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 4 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 8 年 10 月 4 日（日）に金沢駅東広場（鼓門下）で無形民俗文化財の共演会を実施
事業の今後について	今後も中心市街地において無形民俗文化財の魅力を発信する共演会を開催していく。

⑳. 文化財等解説板多言語化整備事業（金沢市）

事業実施期間	令和 4 年度～【実施中】
事業概要	主要な観光スポットにある文化財解説板等について、歴史都市・金沢への理解促進と魅力発信を目的として解説の充実及び多言語化整備を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 4 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新	令和 7 年度は、東山地区を中心に 5 個の解説板を多言語対応に更新

値及び進捗状況	した。
事業の今後について	今後も継続的に文化財解説板等を多言語対応させていく。

②②. アートナイトイベント開催事業(金沢市)

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	芸術・文化施設、商店街、アートギャラリー等を巡るスポットの回遊性を向上させるため、周辺地域にて集客イベントを開催し、観光客を中心とした来訪を促す。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	博物館や美術館の夜間開館、各館企画イベント及び公募イベントを実施した。 ・イベント数：46回 ・イベント参加者数：1,925人 ・入館者数：1,709人
事業の今後について	夜間の外出を促し、まちの賑わいを創出するため、引き続き、様々なカルチャーイベントを開催していく。

②③. 現代建築レガシー継承事業(金沢市)

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	著名建築家による国内外から評価の高い現代公共建築を継承するため、建築的価値の維持と長寿命化等のガイドラインを作成するとともに、まちなかにおいて学生が集い、競い合い、学び合うイベントを開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	「歴史的空間の再編」をテーマに、全国の学生が設計作品を出展するコンペティションを開催し、金沢のまちなかに全国の学生が集い、交流する場を創出した。
事業の今後について	今後も、歴史的空間再編コンペティションを開催し、全国の学生と金沢の学生が相互に学び合い、交流する場を創出していく。

②④. 玉川図書館建築レガシー継承事業(金沢市)

事業実施期間	令和7年度～【実施中】
事業概要	国内外から評価が高い玉川図書館の建築的な価値の継承に向けた大規模改修を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和7年度～令和8年度)

事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年6月末で玉川図書館を休館のうえ、大規模改修に着手し、令和9年3月の完成を予定している。
事業の今後について	再開館後には、リニューアル記念事業等を実施して来館者の増加を図り、中心市街地の活性化につなげていく。

②⑤. 金沢食文化フェスタ開催事業(金沢市)

事業実施期間	平成27年度～【実施中】
事業概要	金沢の食文化の歴史や魅力について理解を深めるワークショップなどを開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和6年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	本市の誇る資産であり多くの人が関心を持つ食文化をテーマとしたイベントを中心市街地で開催することで、まちなかの魅力がさらに高まった。特に令和7年度からはイベントの規模を拡大し、中心市街地の賑わい創出に寄与した。
事業の今後について	引き続き、食文化の振興及び継承を図るため、中心市街地で食文化に関するイベントを開催し、中心市街地の活性化につなげていく。

②⑥. 旧菓子文化会館利活用検討事業(金沢市)

事業実施期間	令和6年度～【実施中】
事業概要	木の文化都市・金沢を象徴する建築物の整備に向けて、隣接する泉鏡花記念館のリニューアルを含めた利活用策について検討する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和6年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	学識経験者や関係団体の代表者等で構成する懇話会にて施設整備に向けた検討を行い、旧菓子文化会館等再整備基本構想を策定した。
事業の今後について	木の文化都市・金沢を象徴し、泉鏡花を育んだまちへと誘う文化交流拠点を整備していく。

②⑦. 薦づくり担い手育成事業(金沢市)

事業実施期間	令和6年度～【実施中】
事業概要	長町景観地区の街並みを象徴する土塀を雪から守る薦掛けの景観を保全する上で欠かせない薦製作の継承を検討する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和6年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	薦製作継承検討委員会及び市民向け薦づくり体験会を開催し、また、薦づくりにかかる手引書の作成、道具の作成、歩掛の検証作業を実施し、薦づくり職人の担い手の確保のための取り組みを行っ

	た。
事業の今後について	引き続き、薦づくり職人の担い手確保に向けて、技術研修会の開催、薦づくり体験会の開催など、技術の継承と魅力発信の取り組みを行っていく。

⑳. K O G E I かなざわ開催事業(金沢市)

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	本市の歴史と文化を象徴する産業である「工芸」をテーマとしたイベントを開催する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金(内閣府)(令和 5 年度～令和 6 年度) 新しい地方経済・生活環境創成交付金(第 2 世代交付金)(内閣府)(令和 7 年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 4 年度～令和 7 年度にかけて、毎年マルシェの売上が過去最高額を更新している。また、来場者数も増加傾向にあり、特に令和 6 年度の来場者数は 39,708 人で過去最高となった。
事業の今後について	今後も、好評を得ている金沢工業大学との連携によるデジタルアートミュージアムを継続して実施する。また、インバウンドの来訪者増加に対応し、外国語対応を強化することで、さらなる来場者数及び売上の増加を図り、来街者や市民が工芸に触れる機会の創出につなげていく。

㉑. 欧米富裕層向け工芸品販路開拓事業(「KOGEI Art Fair Kanazawa」実行委員会)

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	金沢クラフトのビジネス化及びブランド力向上を図るため、欧米富裕層向けに工芸品の新たな販路開拓を目的に、アートフェアを開催する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金(内閣府)(令和 3 年度～令和 4 年度) デジタル田園都市国家構想交付金(内閣府)(令和 5 年度～令和 6 年度) 新しい地方経済・生活環境創成交付金(第 2 世代交付金)(内閣府)(令和 7 年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	ハイアットセントリックにて開催された「KOGEI Art Fair Kanazawa」へ支援補助を行った。本イベントは初開催以来、来場者数や販売額、出品作家数が増加傾向にある。作家自らが来場者に作品解説を行うなどし、作家と買い手のマッチングの場を創出することで、工芸・アート産業の活性化に寄与した。
事業の今後について	引き続き、「KOGEI Art Fair Kanazawa」の開催費補助を通じて、国内唯一の工芸に特化したアートフェアの金沢開催を支援する。これにより、金沢市における工芸の地位をさらに高め、工芸・アート産

	業の一層の活性化を図っていく。
--	-----------------

③⑩. 建築文化発信事業(金沢市)

事業実施期間	令和４年度～【実施中】
事業概要	連綿と受け継がれてきた本市の質の高い建築文化を国内外に発信するため、講演会やこども向けワークショップなど、建築文化を広めるための多彩なイベントを開催する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金(内閣府)(令和５年度～令和６年度) 新しい地方経済・生活環境創成交付金(第２世代交付金)(内閣府)(令和７年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	11月４日に大阪・関西万博会場デザインプロデューサーで、大屋根リング設計者の藤本壮介氏を招き、「金沢・建築文化会議」を開催した。(参加者は過去最多の約750人) また、本市では11月を「金沢・建築月間」と定めており、市庁舎内において、「木の文化都市・金沢 ミライまちづくり」学生提案事業や日本建築家協会(JIA)こどもけんちく塾での成果品(模型)を展示するなど、建築文化の魅力発信に努めた。
事業の今後について	今後も多彩なイベントを開催し、本市の建築文化への理解促進と国内外へ発信に向けた取組を推進していく。

③⑪. 金沢未来のまち創造館交流・創造推進事業(金沢市)

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	「金沢未来のまち創造館」を活用し、最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創出と子供たちの独創力の育成を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金(内閣府)(令和５年度～令和６年度) 新しい地方経済・生活環境創成交付金(第２世代交付金)(内閣府)(令和７年度) 地域未来交付金(内閣府)(令和８年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	金沢未来のまち創造館利用者数 目標値：18,109人 実績値：27,978人(令和７年)
事業の今後について	価値創造拠点として各事業を推進していくとともに、それぞれの事業を連携させて新たな価値の創出を図っていく。

③⑫. 金沢駅前広場賑わい創出事業(金沢市)

事業実施期間	令和７年度～【実施中】
--------	-------------

事業概要	金沢駅周辺の賑わい創出と中心市街地への誘客を促進するため、株式会社金沢商業活性化センターと連携し、学生と連携した中心商店街の情報発信や連携イベントを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創成交付金（第2世代交付金）（内閣府）（令和7年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	金沢駅東口にて、土日祝日に学生ナビゲーターを配置し、中心商店街のショッピング・グルメ情報や最新のイベント情報などを総合的に提供することで、中心市街地への誘客を促進した。 （令和7年度実績：年間117日活動、18,353人案内）
事業の今後について	海外観光客が増加する中、令和7年度のインバウンド対応件数は約26%と全体の4分の1を占めた。今後も増加が見込まれるインバウンドに対し、きめ細やかに対応・注力することで、さらに来街者を中心市街地へ引きつけていく。

③③. 加賀百万石「金沢城四季物語」開催事業（石川の四季観光キャンペーン実行委員会）

事業実施期間	平成14年度～【実施中】
事業概要	金沢城公園及び兼六園を中心として、四季を通じた折々のライトアップイベント等を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和4年度） デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和5年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	金沢城公園及び兼六園において、エリアを限定して夜間（各段により異なる）開放し、園内の名所や四季折々の自然をライトアップすることで、普段とは異なる魅力的な空間を演出し、夜の魅力を創出した。 令和7年度来園者数：約34万1千人（開催日数40日間）
事業の今後について	金沢城公園と兼六園を舞台に四季を通じて観光の魅力を演出するイベント等を開催し、さらなる観光誘客の促進を図っていく。

③④. 金沢もてなしの伝統文化資産保存活用事業（金沢市）

事業実施期間	平成23年度～【実施中】
事業概要	金沢の食文化の集合体である料亭や和風旅館を「金沢もてなしの伝統文化資産」に認定し、保存活用を推進する。料亭文化や加賀料理の魅力を発信する料亭及び伝統芸能や食文化の魅力を発信する茶屋の改修に助成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和3年度～令和4年度） デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和5年度） 新しい地方経済・生活環境創成交付金（第2世代交付金）（内閣府）（令和7年度） 地域未来交付金（内閣府）（令和8年度）

事業目標値・最新値及び進捗状況	料亭や和風旅館の保存活用を推進することで、料亭文化や加賀料理の魅力発信に寄与した。
事業の今後について	引き続き、料亭文化や加賀料理の振興及び継承を図るため、保存活用を推進していく。

③⑤. 三大都市圏観光キャンペーン事業(金沢市)

事業実施期間	平成 19 年度～【実施中】
事業概要	三大都市圏や新幹線沿線都市における観光PRを強化し、誘客を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金(内閣府)(令和4年度) デジタル田園都市国家構想交付金(内閣府)(令和5年度～令和6年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	首都圏をはじめ関西圏や新幹線沿線都市への出向宣伝や商品造成支援などを幅広く実施した。また、北陸新幹線敦賀延伸に伴い、新幹線沿線の小松市・加賀市とも連携し、全国的なPRを行った。さらに、延伸後に鉄道利用者が減少している関西圏・中京圏へのプロモーションを強化し、富山市・福井市との3都市連携事業なども行った。
事業の今後について	三大都市圏や新幹線沿線都市での観光PRを強化し、誘客促進を図るため、効果の高いイベントや物産展等と連携して、本市の魅力や情報を広く発信していく。

③⑥. 海外誘客推進事業(金沢市)

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	アジアや欧米において、金沢の文化や芸能の発信、現地旅行会社へのプロモーションを行う。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金(内閣府)(令和4年度) デジタル田園都市国家構想交付金(内閣府)(令和5年度～令和6年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	欧米豪市場を主なターゲットとし、現地旅行会社へのプロモーションや現地メディアでの発信を実施した。また、台南市・台中市との交流を深めつつ、本市の観光PRを行い、誘客促進につなげた。
事業の今後について	文化に関心が高く旅行消費額も大きい欧米豪市場を主なターゲットとし、現地旅行会社やメディアへのプロモーションを通じて金沢への誘客を推進し、中心市街地の活性化につなげていく。

③⑦. 木の文化都市・金沢創出事業(金沢市)

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	金沢の建築構造の基本である「木」にこだわったまちづくりを推進

	し、歴史と調和した金沢ならではの都市空間として「木の文化都市・金沢」を創出する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業補助(国土交通省)(令和3年度～令和7年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	「木の文化都市・金沢」の実現に向け、金沢駅—武蔵ヶ辻 間において「木を感じられる」空間整備を実施。
事業の今後について	引き続き、「木を感じられる」空間整備を進め、歴史と調和した金沢ならではの都市空間の実現を目指していく。

③⑧. 金沢美大柳宗理デザインミュージアム整備事業(金沢市)

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	本市の建築文化の形成を担う有名建築家設計の建物を改修し、柳宗理のデザイン資料を活用したデザインミュージアムを整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業補助(国土交通省)(令和6年度～)
事業目標値・最新値及び進捗状況	金沢の建築文化の一翼を担う有名建築家設計の建物を活用したデザインミュージアムを整備することにより、まちなかの魅力を高める。
事業の今後について	令和8年度整備完了、令和9年度夏開館に向け、整備・調整を進めていく。

③⑨. 茶の湯のまち金沢魅力発信事業(金沢市)

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	本市の茶の湯文化や茶室の魅力を発信するほか、全国学生金沢大茶会を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(令和4年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	全国学生大茶会における参加校(大学茶道部及び参加者) 参 加 校 : 27 校 290 人 茶席参加者 : 2,020 人(令和7年度) 評価:「夜の茶会」を初開催したほか、1会場を増やして2日間の日程で開催することができ、全国から過去最多の学生が参加した。
事業の今後について	引き続き、中心市街地に集積する茶席を活用し、交流人口拡大を目指していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

県観光連盟のスタンプラリーとの連携や国立工芸館と連携したイベントの開催等の取組が大きな効果をもたらし、全体を通して前年よりも利用者数が増加したため、目標達成は可能であると見込まれる。

引き続き、取組（事業等）を進め、事業開催や情報発信を強化していくことで施設利用者のさらなる増加につなげていくとともに、今後も目標達成に向けた施策を総合的かつ計画的に推進する。